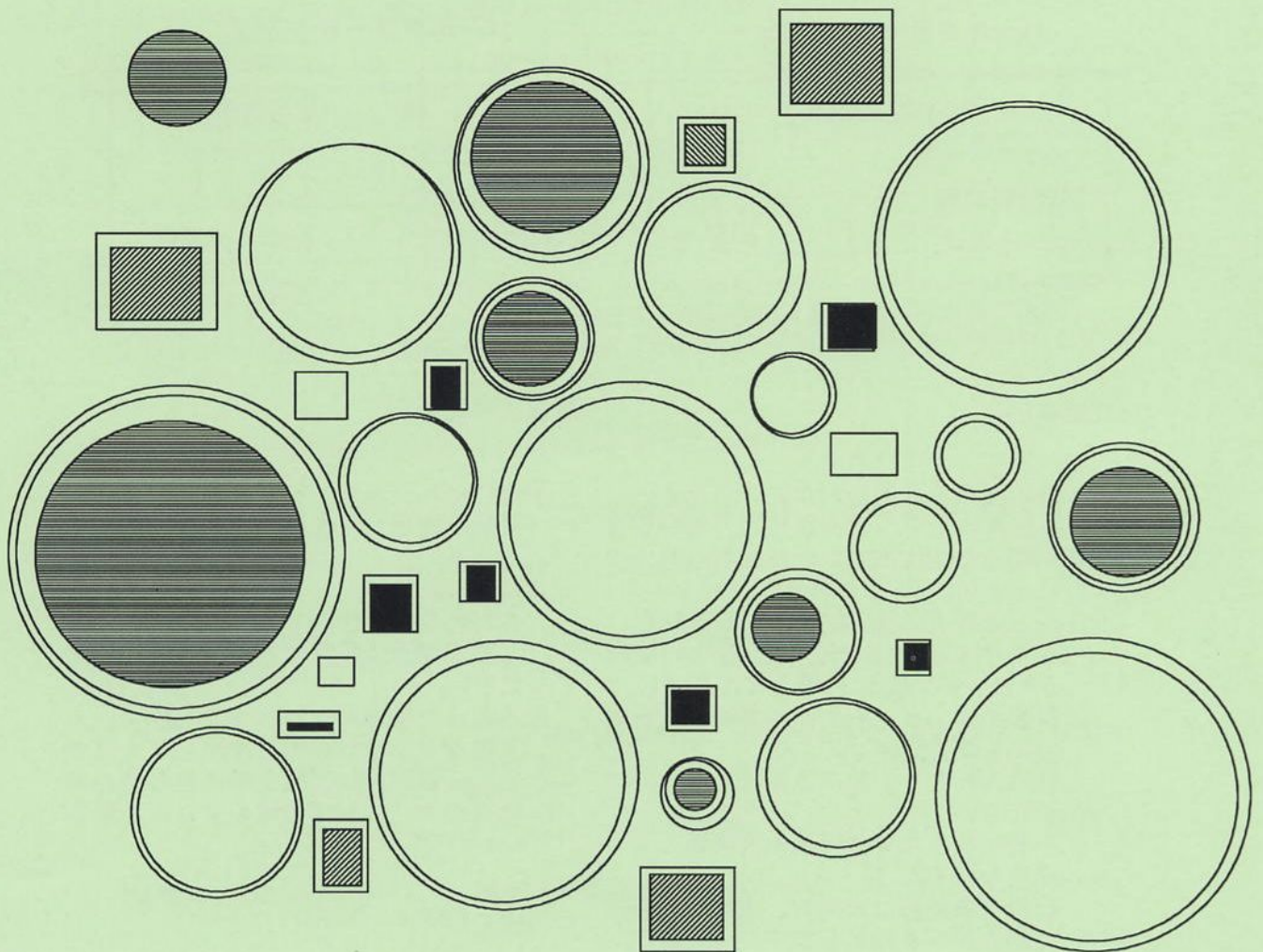


PEARLCREAT

界面系セメント起泡剤

パールクリート



DAIICHI KASEI SANGYO CO.,LTD.

弊社が蛋白質の分解・製法に関し長年の経験と高度な技術により製造しております「土木・建築用起泡剤モノクリート」は、最適なセメント用起泡剤として、各業界に広くご使用いただいております。

近年、作業環境の改善に伴い、臭気の強い蛋白系起泡剤に替わり界面系起泡剤を使用する傾向にあります。しかし、一般的に界面系の気泡は蛋白系の気泡と比べると弱く、セメント中で気泡が互いに結合して気泡径が大きくなる傾向にあり、また、低温時での起泡力が劣るといった欠点があります。

今回新たに、界面系セメント起泡剤**パールクリート**を開発致しました。

パールクリートは、低温時においても発泡性能を維持し、セメント混合前後において殆ど気泡径が変わること無く、細かい状態で存在します。また、使用濃度は20倍希釈で発泡倍率を20倍として用いるため、少量の起泡剤で多量の気泡を作成することができます。

パールクリートは、十分な品質管理を行っておりますので、安心してご使用いただけるものと確信しております。

パールクリートの成分

アニオン系界面活性剤	24 %
グリコール類	20 %
気泡安定剤	2 %
水・その他	残量

パールクリートの性状

外観	黄色透明液体
比重 (20℃)	1.03 ± 0.02
粘度 (20℃)	30 cSt 以下
pH (20℃)	弱アルカリ性

[注意事項]

他の薬剤とは混合しないでください。
生活排水など、界面活性剤・油分を含んだ水や硬度の高い水は使用しないでください。

一部使用した場合は必ず密封し、なるべく直射日光のあたらない場所 (-5℃~+35℃) に保管してください。保管中は、水・その他の異物混入を避けてください。

目に入れたり、飲み込んだりしないでください。

不要になった場合は産業廃棄物として処理してください。

使用有効期限は未開封、上記保管条件で納入後6ヶ月とします。

[取扱上の注意]

皮膚に触れた場合

石鹸を使用してきれいな水で洗浄してください。

目に入った場合

きれいな水で洗浄してください。
必要な場合は眼科医の手当を受けてください。

飲み込んだ場合

水道水でよく口の中を洗浄してください。必要があれば指を喉に差し込んで吐き出させ、医療処置を受けてください。

パールクリートの配合処方例

パールクリートの配合処方例を以下に示します。(フロー値 180 ± 20mm)
プレフォーム方式にて作成しました。

エアーミルク配合例 (1 m³ 当り)

配合 C:S	圧縮強度 (4W)		セメント量 (kg)	水量 (L) (セメント混練用)	パールクリート 希釈液		空気量 (%)	生比重	水・セメント比 (%)
	kg/cm ²	MPa			パールクリート(L)	希釈水(L)			
1:0	8	0.78	270	180	2.08	39.52	70	0.51	81
	10	0.98	300	185	2.05	38.95	68	0.52	75
	20	1.96	400	210	1.91	36.29	63	0.64	62

エアーモルタル配合例 (1 m³ 当り)

配合 C:S	圧縮強度 (4W)		セメント量 (kg)	水量 (L) (セメント混練用)	パールクリート 希釈液		空気量 (%)	生比重	水・セメント比 (%)
	kg/cm ²	MPa			パールクリート(L)	希釈水(L)			
1:1	8	0.78	230	180	1.89	35.91	62	0.67	94
	10	0.98	250	190	1.83	34.77	60	0.72	90
	20	1.96	330	210	1.58	30.02	51	0.90	73

※ セメントは普通ポルトランド使用 比重 = 3.16 砂は川砂使用、FM = 2.0、比重 = 2.52
パールクリート希釈率 = 5% (v/v) (20倍希釈) 気泡容積重量 = 50g/L (20倍発泡)

※ セメントの種類によって製品の流動性・強度などが異なりますので、事前に試験練りを行い配合を調整してください。

[試験方法] (詳細はモノクリート技術資料を参考にして下さい。)

生比重の測定 1 Lマスで容器重量を差し引いた試料の重量を測定し、次の計算式により算出します。

$$\text{生比重} = (W - W_0) / 1000 \quad \begin{array}{l} W = \text{気泡モルタル 1 L 重量} + 1 \text{ L マス容器重量} \\ W_0 = 1 \text{ L マス容器重量} \end{array}$$

フロー値の測定 φ 8cm × 8cm 円筒コーンに試料を入れ、それを引き上げた時広がる長・短直径の平均値を測定します。

空気量の測定 (アルコール法)

500cc のメスシリンダーに試料 200cc を取り、水を 200cc 加えて十分に振って泡を分離させ、アルコール 100cc を滴下し完全に消泡させた後、メスシリンダーの目盛により、次の計算式により算出します。

$$\text{空気量} = (500\text{cc} - \text{シリンダー目盛}) \div 200\text{cc} \times 100(\%)$$

圧縮強度の測定 3 連型枠 (4 × 4 × 16cm) を使用して供試体を作り、湿空 (20 ± 3℃, 90%) 養生後、JIS 法により測定します。



第一化成産業株式会社

本 社 〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1

TEL. 03 (3264) 8221 【代表】

川越工場 〒 350-1165 埼玉県川越市南台 1-6-4

開 発 室 TEL. 0492 (42) 7785 【代表】

販売店